

教授 石川恒夫 / 建築論・建築意匠研究室

主な研究内容と目指す将来像

研究とものづくりは表裏一体です。ドイツ建築論の文献研究、近代建築の作家研究を進める一方、大学発ベンチャーである(有)ビオ・ハウス・ジャパン一級建築士事務所での設計活動をとおして、健康と環境に配慮した住まい(バウビオロジー建築)の普及を目指しています。

研究キーワード

健康な住まい / 木造建築 / サスティナビリティ / ライフサイクル / 空間 / デザイン / 建築様式 / シックハウス

研究の魅力・面白さ

- ✓健康な住まい—これからの社会のメガトレンドです。
- ✓研究と設計(創作)は学びの両輪です。
- ✓研究テーマは自分の身の回りにあります。与えられるのではなく、自分で課題を見つける。それが最大の学びです。
- ✓ベトナム・ダナン工科大学(DUT)との国際交流を進めています。



履修しておきたい推奨科目

デザイン史 I (2年前期)、空間造形基礎(2年前期)、建築設計基礎(2年前期)、バウビオロジー I (2年前期)、バウビオロジー II (2年後期)、建築設計 I (2年後期)、建築設計 II (3年前期)

研究室配属希望者へのメッセージ

建築は工学であり、数学(幾何学)への関心をもってください。恣意のはいらない法則の美しさがそこにあります。建築はしかし、芸術です。歴史・文学への関心をもってください。本をたくさん読んでください。作家のシナリオをたどりながら、論理的思考を育ててほしいと思います。

連絡先

ishikawa@maebashi-it.ac.jp